

## 平成23年度 奄美市紡ぐきよらの郷づくり事業の実績概要

	番号	申請団体	代表者氏名 (提出者)	事業名	主な内容	総事業費(円)	交付決定額(円)
地域活性化施設等整備助成事業	1	笠利地区漁業集落	山下 勤一	水産加工品販売施設整備事業	水産加工品の販売施設を建設することで漁業者所得の向上、魅力ある漁村地域の確立、奄美地域の特産品の確立、未利用資源の有効活用を図り、水産業の振興、笠利地域の活性化を目的に事業を展開していく。	4,893,322	4,654,000
	2	用安集落会	里山 義光	「用安きよらの郷直売所」設置事業	地産地消に取組み市民の交流の場として地域の活性化に繋げ、農産物等の販売のみでなく、加工技術や農産物生産技術の研修の場とした活用を図る。	4,999,413	4,949,000
	3	手花部集落会	又野 芳樹	古道の復元(道の島古道)	奄美にある歴史的に貴重な薩摩墓(五輪塔)が20期存在するコースの整備をするとともに、赤木名を発着とする3km弱の起状に富んだコースに繋げ、健康増進へも取り組む。	2,158,800	1,619,000
	4	ケンムン村	中山 清美	青久玉石垣修復と住用町イラストマップ作成事業	玉石を使用した防波壁(防潮堤)が一部崩れたままになっているので、今回修復を行い建設当時の概要を記す銘碑を建てる。住用町のイラストマップを作成し広く市民に情報提供する。	4,950,000	4,600,000
小計						17,001,535	15,822,000
創造プログラム助成事業	1	あまみ〜るクラブ	内山 初美	みんなで織りくま、はた織りトントン♪プロジェクト!!	小中高校生を対象とした「はた織り無料体験会」を実施し、卓上織り機でコースターを織らせ、はた織りの仕組みを教え、紬の機で実際に大島紬を織らせることにより、大島紬を身近に感じさせ、大島紬に対する興味や憧れを育てることができる。これを支える活動として、衣類のリサイクルポストの設置とはた織りインストラクターの育成を行う。	340,000	255,000
	2	紬んちゅの会	別府 美加代	第7回 和ナイト	着物は持っているが着付けができない、又は着ていく場所がないという方に、無料着付けを行い、着物で楽しむ場所を提供し着物ビギナーに入口をつくる。また、京都から講師を招き和文化、着物文化について講話をしていただき、着物の魅力を再確認し、日常で大島紬を着る方を増やす。	386,880	278,000
	3	住用町連合青年団	弓削 洋平	住用町イベント連携プロジェクト事業	H23年度住用地域着地型観光システム強化事業が実施されることから「三太郎まつり」の開催との連携により、島外からの観光客への「食」の導入ということで、集落に残る伝統食の提供を実施し、地域住民と一体となって特産品化を図る。事業実施により、新たな産業の掘り起し、また、広く昨年の地域資源を活用した体験メニューと併せて、島内外にPRすることができ、町全体の産業分野での活性化や、住用町連合青年団の組織力アップを図ることが期待できる。	337,793	233,000
小計						1,064,673	766,000
合計						18,066,208	16,588,000